

令和3年度第1回那須塩原市環境審議会 意見聴取結果

2 報告事項

(1) 第2期那須塩原市環境基本計画の計画期間の1年延長に伴う一部改定について

委員名	質問、意見等	回答等
大久保 委員	当然のことと思います。事務局のご苦勞を思い、かつご努力に謝意をお伝えしたいと思います。	【一括回答】 環境基本計画については、事業の進捗状況を把握した上で、改善すべき点は改善し、目標達成に向け事業を進めてまいります。
粟谷 委員	新型コロナウイルス感染症対応による事業の延期や中止等によって施策の進捗が図れない可能性があるということを理由として、計画期間を1年間延長することについて、同意する。 しかしながら、単に総合計画基本構想及び前記基本計画にあわせて延長するというのではなく、環境基本計画期間から5年目の現時点において、コロナの影響によっていずれの事業の進捗が滞っており、1年間延長することによってその進捗状況を改善することができるのかについては現状を把握しておく必要があると考える。なお、進捗状況については(2)に後述するとおり、イベントの中止等により進捗が停滞する事業は全体の一部であるとも考えられる。	
鈴木 委員	最上位計画である第2次那須塩原市総合計画に合わせた延長は、妥当であると思います。	

(2) 令和2(2020)年度那須塩原市環境基本計画の進捗状況について

委員名	質問、意見等	回答等	担当課
大久保 委員	<p>2 生活環境の保全</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大気環境、河川水質の環境基準達成は立派な努力の成果です。 ・ 騒音については、一層の努力を。 ・ 市民の苦情の内容は。 <p>6 環境保全活動と環境学習の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教育、啓蒙について努力を。 	<p>騒音については、現地確認や苦情者及び原因者への聞き取りを丁寧に実施し、双方が納得の上、解決できるように努めてまいります。</p> <p>また、苦情の内容は不法投棄や屋外燃焼行為に関することが多い状況です。</p> <p>環境学習は、自然環境保護に対する市民の意識の高揚を図る上で、重要な事業であるため、今後も引き続き実施してまいります。</p> <p>那須塩原クリーンセンターでは、主に市内小学校4年生を対象とした社会科見学を実施しています。見学を通し、ごみ処理の仕組みのほか、自然との共生についての環境学習も行っています。</p> <p>引き続き、ごみ減量と資源化の意識向上を図るため、ごみ処理施設見学会や環境学習会、学校や市民団体等への出前講座を通し、各家庭や学校でのごみ減量につながるようなプログラムを提供していきたいと考えています。</p>	<p>環境課</p> <p>環境課</p> <p>廃棄物対策課</p>
栗谷 委員	<p>現状での目標未達成項目のうち、新型コロナウイルスの感染拡大と直接影響がないものと考えられるものを以下に列挙した。なお、観察会や環境学習等のイベント開催を伴うものについては除外した。</p> <p>①1(1) 生息地当保全協定区域 18(25)</p>	<p>③騒音(昼間)</p> <p>騒音(昼間)に係る環境基準達成率は100%を目標としておりますが、測定箇所7箇所のうち1箇所が環境基準を超過しております。基準超過箇所は、大型車両の通行も多いため、環境基準を超過してしまったと考えております。環境基準達成の施策を市が実施することは困難であり</p>	<p>環境課</p>

<p>② 2 (1) 異常水質発生件数 2 (0)</p> <p>③ 同 騒音 (昼間) 85.80 (100)</p> <p>④ 同 騒音 (夜間) 71.50 (100)</p> <p>⑤ 同 下水道の効果測定 14 箇所の BOD 89 (100)</p> <p>⑥ 3 (1) 用途地域内人口割合 45.89 (48.50)</p> <p>⑦ 同 温泉事業給湯件数 157 (181)</p> <p>⑧ 同 地域バスの利用者数 124,358 (270,000)</p> <p>⑨ 同 公共下水道普及率 56.69 (65)</p> <p>⑩ 同 合併浄化槽普及率 18.97 (21)</p> <p>⑪ 4 (1) 環境マネジメントシステム事業所 67 (80)</p> <p>⑫ 4 (2) 太陽光設置施設 14 (15)</p> <p>⑬ 4 (3) 省エネ診断受診世帯 24 (50)</p> <p>⑭ 5 (1) 生活系廃棄物排出量 23,844 (22,245)</p> <p>上記のうち、③、④の騒音については、基準不適合の対象地が国道付近及び新幹線沿線であり、市が管理権限を有しないものである。これらの達成についてどのような施策が考えられるのか。</p> <p>⑥～⑩については、少子化にともなう人口減少の影響が無視できないのではないかと考えるが、その点についての市の見解をお伺いしたい。計画期間の延長によって達成できる見込みがあると言えるか。</p> <p>⑪～⑬については市の施策推進により今後達成が見込まれると考えられるため、市の今後の対応に期待したいところである。</p> <p>⑭については、基準年よりも状況が悪化しており、その原因及び今後の具体的な施策についての検討が必要であると考えます。</p>	<p>ますが、基準値を大幅に超過するような場合は、道路管理者に相談することも検討してまいります。</p> <p>※環境基準 環境基本法の第16条に基づいて、政府が定める環境保全行政上の目標で、人の健康を保護し、生活環境を保全する上で維持されることが望ましい基準</p> <p>④騒音 (夜間) 騒音 (夜間) に係る環境基準達成率は100%を目標としておりますが、測定箇所7箇所のうち2箇所が環境基準を超過しております。基準超過箇所は、大型車両の通行も多いため、環境基準を超過してしまったと考えております。環境基準達成の施策を市が実施することは困難であります。基準値を大幅に超過するような場合は、道路管理者に相談することも検討してまいります。</p> <p>⑥用途地域内人口割合 人口減少や高齢化と、それらに伴う税収減・社会保障費の増大に対応するため、将来都市構造として『那須塩原市都市計画区域マスタープラン』や『那須塩原市都市計画マスタープラン』に掲げる「集約型都市構造の実現」を目指すとしております。</p> <p>その実現のため、市内で指定されている用途地域を中心に、都市機能や居住を誘導する地域やその誘導方針等を定めた『那須塩原市立地適正化計画』を策定し、長期的な視点で緩やかな人口誘導を進めているところです。</p>	<p>環境課</p> <p>都市計画課</p>
---	---	-------------------------

		<p>⑦温泉事業給湯件数 目標の方向性として維持としているが、人口減少の影響は大きく、年々給湯件数は減少している。そのため、計画期間延長により、目標達成できる見込みは厳しい状況であります。</p> <p>⑧地域バスの利用者数 那須塩原市地域バス（ゆーバス及びゆータク）の令和元年度までの利用者数は年々増加傾向にありましたが（H26：144,396人 → R1：175,282人）、令和2年度は新型コロナウイルス感染症による高校の休校や外出控えが影響し、大幅な利用者数の減少が発生しました（前年比50,924人減）。</p> <p>現在、利用者数は回復傾向にあるものの、令和元年度の実績には及ばないことから、現状のままでは目標の達成は難しい状況にあります。</p> <p>今後は、少子化に伴う通学利用者数の減少と、高齢者人口の増加に伴う生活交通（通院・買い物等）の移動ニーズが高まっていくことが見込まれるほか、コロナ禍での利用者の生活様式の変化も捉えつつ、那須塩原市の地域性や利用実態に合わせた運行内容を検討してまいります。</p> <p>⑨公共下水道普及率 R3年3月に策定した第2期那須塩原市下水道中期ビジョン（以下「中期ビジョン」という。）において、行政人口は減少傾向にあるが、処理区域内人口については、下水道の整備に伴い増加するため、⑨も増加すると予測される。</p>	<p>塩原支所 産業観光 建設課</p> <p>生活課</p> <p>管理課</p>
--	--	--	--

		<p>既に下水道の整備が完了している区域内の西那須野国道4号及び一般国道400号の整備に伴う既設管の付け替えや汚水幹線の整備が主であったことから、指標への影響はなく、中期ビジョンにおける目標年度の⑨は59.7%と新たに設定され、目標値を下回る見込みであります。</p> <p>今後の取組については、公共下水道区域における汚水管路の整備を進め、効率的な汚水処理施設の整備のため、市の将来像や人口の区域ごとの分布の動向を見据え、経済性や地域の実情を勘案の上、浄化槽事業への転換を図り、全体計画等における下水道計画区域の見直しを行ってまいります。</p> <p>⑩合併浄化槽普及率</p> <p>中期ビジョンにおいて、行政人口の減少を加味しているが、汲取り便槽や単独浄化槽から合併浄化槽への転換を促進しているため、中期ビジョンにおける目標年度の⑩は21.4%と新たに設定され、目標値を達成する見込みであります。</p> <p>取組状況については、新築住宅への浄化槽設置費補助金の交付はもとより、汲取り便槽や単独浄化槽を使用している既存住宅に対しては、宅内配管補助の加算や単独浄化槽撤去費補助金を交付し、合併浄化槽への転換促進を図っております。</p> <p>これらの補助制度については、市広報や市ホームページによる周知を行っております。</p> <p>⑪環境マネジメントシステム事業所</p> <p>現在は市ホームページで周知を行っており、引き続き周</p>	<p>管理課</p> <p>気候変動対策局</p>
--	--	--	---------------------------

<p>手塚 委員</p>	<p>P2 ・(3)安全・安心な市民生活の実現の苦情件数【都市型・生活型公害】が現況 120 件/年と基準年度と比較して多い状況ですが、ここ数年の傾向なのか、また、主な要因は何ですか。</p>	<p>知啓発を図ってまいります。</p> <p>⑫太陽光設置施設 今年度、市内3ヶ所の指定避難所への太陽光設備を必須とした再エネ設備導入に係る調査業務委託を実施しており、令和5年度までに設置をする計画です。</p> <p>⑬省エネ診断受診世帯 現在は市ホームページで周知を行っており、引き続き周知啓発を図ってまいります。</p> <p>⑭生活系廃棄物排出量 令和2年度はコロナ禍による外出自粛に伴い、家の清掃や外食機会の減少などにより、家庭からの廃棄物排出量が増加したものと分析しています。 ごみ減量を図るには、継続的な周知が重要であることから、ホームページやごみ分別アプリなどを活用した啓発に力を入れていきたいと考えています。</p> <p>苦情件数（件/年）の推移は下記のとおりです。</p> <table border="1" data-bbox="1182 1082 1944 1182"> <thead> <tr> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>72</td> <td>67</td> <td>127</td> <td>67</td> <td>76</td> <td>120</td> </tr> </tbody> </table> <p>苦情件数については、年度によりバラツキがあり、増加傾向ということではありません。 なお、R2は西那須野地区を中心に悪臭に関する苦情件数が多かったことが増加要因であったと考えております。</p>	H27	H28	H29	H30	R1	R2	72	67	127	67	76	120	<p>気候変動 対策局</p> <p>気候変動 対策局</p> <p>廃棄物対 策課</p> <p>環境課</p>
H27	H28	H29	H30	R1	R2										
72	67	127	67	76	120										

屋代 委員	P4 ・ 5 循環型社会の構築の(1)廃棄物の発生抑制と適正処理の生活系廃棄物の排出量が現況 23,844t/年と基準年度と比較して増加していますが、その要因は何ですか。	令和2年度はコロナ禍による外出自粛に伴い、家の清掃や外食機会の減少などにより、家庭からの廃棄物排出量が増加したものと分析しています。 ごみ減量を図るには、継続的な周知が重要であることから、ホームページやごみ分別アプリなどを活用した啓発に力を入れていきたいと考えています。	廃棄物対策課													
	P. 3～4 次の指標の値について、 ① 基準年度 H27 の値が現況年度 R02 の値に推移した要因 ② 目標年度 R09 の値設定の仕方を平易に説明いただけるようでしたら、御教示願います。	用途地域内の人口割合 ① 市人口及び用途内人口が減少し、用途地域外での宅地開発が進行していることが要因と考えられます。 ② H27 時点での基準値を維持しつつ、将来的には増加へ転じることを想定し設定しています。	都市計画課													
	指標名 用途地域内の人口割合	基準 H27 → 現況 R02 → 目標 R09 47.20% → 45.89 → 48.50	上・中塩原温泉事業給湯件数 ① 人口減少、移住等により使用者が減少しているため。	塩原支所 産業観光 建設課												
	上・中塩原温泉事業給湯件数	181 件 → 157 → 181	② 平成 27 年度の給湯件数が 181 件であり、現状維持を目標としたため 181 件と設定しております。													
	地域バスの利用者数	148,248 人 → 124,358 → 270,000	地域バスの利用者数 ① 地域バス（ゆーバス・ゆータク）の利用者数の推移は下表のとおりになります。	生活課												
	市域から排出される温室効果ガス総排出量	1,062 千 t-CO2 → 784 → 906														
	市が行う業務により排出される温室効果ガス総排出量	7,579 千 t-CO2 → 4,685 → 5,305														
	市域における再生可能エネルギー発電容量	110,894kw → 209,809 → 128,080														
			<table border="1"> <thead> <tr> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>148,248</td> <td>148,776</td> <td>152,649</td> <td>159,313</td> <td>175,282</td> <td>124,358</td> </tr> </tbody> </table> <p>【R02 の値の要因】 ・ 地域バスの利用者数については、那須塩原市と那須地域</p>	H27	H28	H29	H30	R1	R2	148,248	148,776	152,649	159,313	175,282	124,358	
	H27	H28	H29	H30	R1	R2										
148,248	148,776	152,649	159,313	175,282	124,358											

		<p>定住自立圏の2つの交通計画に基づく利便性の向上に関する各種取組を実施しており、令和元年度までは年々増加傾向にありましたが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症による高校の休校や外出控えが影響し、大幅な利用者数の減少が発生しました（前年比 50,924 人減）。</p> <p>② 第2次那須塩原市総合計画（前期計画）の目標値（地域バス利用者数：令和4年度 202,000 人）に基づき、利用者数の増加を試算し令和9年度の目標値を設定しております。</p> <p>市域から排出される温室効果ガス総排出量</p> <p>① 部門別の温室効果ガスの排出量では、産業部門、民生家庭部門、民生業務部門において排出量が削減されています。</p> <p>理由としては、これらの部門のエネルギー源の多くを占める電力における排出係数の減少とともに、省エネ等によりエネルギー消費そのものが削減されていることが要因と考えています。</p> <p>② 目標値については、計画策定時から特段の対策を行わないと仮定した場合に推計される排出量から、本市において実行可能と考えられる対策の削減見込量を差し引いた値を設定しています。</p> <p>市が行う業務により排出される温室効果ガス総排出量</p> <p>① 電気使用による温室効果ガス排出量が削減されており、公共施設の一部において、LED照明の導入が進んだことが要因であると考えております。</p>	<p>気候変動 対策局</p> <p>環境課</p>
--	--	--	--------------------------------

		<p>② 目標値については、国の地球温暖化対策計画における業務部門の削減率を参考に、基準年度からの削減率を30%に設定し、算出したものです。</p> <p>市域における再生可能エネルギー発電容量</p> <p>① 太陽光発電の導入容量が大きく増加しているのが要因となっています。</p> <p>② 目標値については、計画策定時における栃木県地球温暖化対策実行計画の導入目標や市域の導入状況等を参考に設定しています。</p>	<p>気候変動 対策局</p>
--	--	---	---------------------

(3) 令和2(2020)年度那須塩原市の環境保全の取組について

委員名	質問、意見等	回答等	担当課
大久保 委員	<p>2 公害苦情取扱件数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業所の騒音・悪臭が令和元年度より増加していることがやはり気になります。不法投棄も含めて、対策を。 <p>7 水質関係</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協定の成果は立派です。 ・河川の水質は良く保たれているが、大腸菌は懸念があります。 	<p>事業活動に起因する公害苦情については、迅速かつ適切に対応し、安心・安全な市民生活の実現に努めてまいります。</p> <p>河川等水質調査では、大腸菌群数の基準達成率は、27%（前年度33%）で、ここ数年は20%～60%の達成率で推移しております。大腸菌には、土壌由来のものと糞便由来のものがありますが、以前、糞便性大腸菌群の調査を実施しましたが、土壌由来の大腸菌であると結論づけました。今後も、引き続き数値を注視してまいります。</p>	環境課 環境課
粟谷 委員	<p>環境保全の取り組みについて、コロナ禍においても感染症防止に配慮した上で実態調査や見学会等の事業を実施している点については評価できる。</p> <p>なお、(2)に上記した意見については、市の取り組み状況を伺いたい。</p>	<p>(2) 令和2(2020)年度那須塩原市環境基本計画の進捗状況についての回答のとおり。</p>	
屋代 委員	<p>P. 11</p> <p>(1) 環境騒音調査について、国道4号の次の地点で基準値を超えています。対応策があれば、御教示願います。</p> <p>測定値：基準値（dB）</p> <p>西富山 昼間 72:70、夜間 71:65</p> <p>大原間 夜間 70:65</p>	<p>基準超過箇所は、大型車両の通行も多いため、環境基準を超過してしまったと考えております。環境基準達成の施策を市が実施することは困難であります。基準値を大幅に超過するような場合は、道路管理者に相談することも検討してまいります。</p>	環境課

	<p>P. 12</p> <p>(3) 道路振動調査について、国道400号の次の地点の基準値が「－(バー)」となっていますが、その意味合いを御教示願います。</p> <p>測定値：基準値 (dB)</p> <p>太夫塚 昼間 41:－、夜間 31:－</p>	<p>道路振動調査の基準値は振動規制法施行規則第12条で規定している道路交通振動の限度としておりますが、調査地点の太夫塚は規則で規定している区域外であるため、基準対象ではないという意味で「－(バー)」と表記しております。</p>	<p>環境課</p>
--	---	--	------------

(4) 那須塩原市地球温暖化対策実行計画【区域施策編】の進捗状況について

委員名	質問、意見等	回答等
大久保 委員	<p>2-1~2-15</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「案」については異論ありません。 ・様々な市の特性の第2章は立派な総括と思います。 <p>3-2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北海道に次ぐ畜産県のなかで、当市でも乳牛、肉牛、羊の飼料を輸入から自給へ、それも放牧方式を推進すべきと考えます。 	<p>今後の計画策定の参考とするとともに、御意見については、畜産担当部署にも共有いたします。</p>
栗谷 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・1. 3気温の変化に引用されている IPCC の評価報告書は 2021 年に第六次報告書が公表される予定であるため、来年度の改定時には最新のデータを引用されたい。 ・4の対策の課題認識について、市の二酸化炭素排出量が減少傾向にあることを認識した。この点については評価する。 しかしながら、市の平均気温は1.5℃上昇しているとのことであり(2-2)、地球全体として温暖化傾向にあることは明らかである。市は、2050年までに実質ゼロを目指すことを宣言しており、それを実現するためのロードマップを今後の計画目標の中で明らかにしていくことが期待される。 	<p>2021年8月に第6次評価報告書第1作業部会の報告がなされ、今後、第2、第3作業部会の報告がされることとなっています。改定に当たっては、可能な限り最新のデータを引用することいたします。</p> <p>今般、国・地方脱炭素実現会議にて取りまとめられた「地域脱炭素ロードマップ」や地球温暖化対策の推進に関する法律の改正内容等を踏まえ、2050年カーボンニュートラルに向けた中長期的なロードマップの策定を検討してまいります。</p>
手塚 委員	<p>2-11 及び 2-12</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3.2 温室効果ガスの種類別割合及び 3.4 二酸化炭素排出量の部門別割合について、現状の 2018 年度の数値ではなく、基準の 2013 年度の数値を使用する理由は何ですか。 	<p>本市の温室効果ガス削減目標を国の地球温暖化対策計画の基準年に合わせ、2013 年度比で掲げることから、排出量の割合についても 2013 年度の数値を使用しています。</p>